

放置は
キケン!!

糖尿病足病変

について



糖尿病足病変とは

糖尿病を患っている方に
起こりやすい足のトラブルのこと

水虫

タコ

小さな
傷

ヤケド

など...



足のトラブルが起こりやすくなる3つの原因



神経障害

糖尿病によって足の感覚神経が
傷つき、痛みや温度を感じにくくなる

ケガをしても気が付かず放置してしまう!

血流障害

糖尿病が進行すると動脈硬化が
起こりやすくなる

血流が悪くなると、傷の治りが遅くなる!
感染が広がりやすくなる!

易感染性

高血糖状態では免疫力が低下する

細菌に感染しやすくなる!
傷口が化膿しやすくなる!



これらの原因により糖尿病足病変は発症しやすく、
かつ治りにくい性質を持っているのです!



糖尿病
足病変を
防ぐために

1

血糖コントロール

医師の指導のもと、
食事や運動などで
血糖コントロールに
努めましょう。



2

毎日足の状態を チェックする

足の観察と合わせて、
足を清潔に保ったり、
自分の足に合った靴を履くなど
セルフケアも大切です。



3

定期的な受診

足の状態を定期的に
専門医に確認して
もらうことが、
早期発見のために
重要です。



痛みがないからと言って油断は禁物!!

神経障害が進んでいると痛みをほとんど感じない場合があります。

気が付かないまま放置してしまうと...

壊疽(えそ)

重篤な場合には、足の切断が必要な場合も



早期発見・早期治療により
多くの場合は回避可能!

日頃のケアと定期的な受診が何より重要です。

こまめに足の状態をチェックし、少しでも異変を感じたら
すぐに医療機関を受診しましょう。

